



県域 絶滅危惧Ⅱ類

同じ生息地でも年によって体長が異なり、6cm前後～10cmを超える年まで変異が視られる。

シラウオ科 シラウオ属

【全長】10cm

シラウオ

学名: *Salangichthys microdon*

分布域

ほぼ日本全国に分布する。

生息域

汽水湖や大きな河川の河口部などに生息する。



活着ている時は透明で美しいが非常に弱い。

体形は細長く、臀鰭付近の体高が最も高い。頭部が小さく吻が尖がる。小さな脂鰭がある。活着ている時の体色は透明でガラス細工の様だが死ぬと白くなる。オスはメスよりやや小さい。オスはのどから肛門にかけて小黑点が腹部に並ぶ。雌雄の識別は可能。食性は動物食で動物プランクトンや小型の甲殻類を食べる。産卵期は初春(2～3月)で、砂底や水草などに粘着卵を産む。寿命は1年とされる。塩分濃度に対する適応力が強く、広塩性魚類とされる。一生を汽水域で暮らす汽水魚。

水槽での飼育は困難。非常に弱く、採集後数分で死んでしまう。かき揚げや玉子とじなどで食べられる。大変に美味しく、高級魚。

在来種

汽水魚

※ 年間を通して汽水域に生息するが生息数は少ない。春(2～3月頃)に産卵のため岸近くの砂底部に集まる。本種は年によって体長に変異が視られ、小さいと6cm前後、大きいと10cmを超える。餌の関係か？